

秋田市医師会立秋田看護学校自己点検及び自己評価に関する規程

秋田市医師会立秋田看護学校自己点検・評価に関する規程の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規程は、秋田市医師会立秋田看護学校学則第30条第2項の規定に基づき、秋田市医師会立秋田看護学校（以下「学校」という。）における教育活動の水準の向上及び学習環境等の改善を図り、もって学校の教育目標及び社会的使命を達成するため、学校の教育活動その他学校運営に係る自己点検及び自己評価（以下「自己評価」という。）の実施並びにその公表の方法に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会)

第2条 学校に、次の各号に掲げる事項を行うため、秋田市医師会立秋田看護学校自己点検及び自己評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- (1) 自己評価の基本方針に関すること。
- (2) 自己評価の実施及び重点目標に関すること。
- (3) 自己評価に係る報告書の作成及びその要旨のまとめに関すること。
- (4) 課題の整理及び改善計画に関すること。
- (5) 授業評価に関すること。
- (6) 学生、保護者若しくは卒業生又は地域住民を対象としたアンケートに関すること。
- (7) 改善状況の確認及び公表に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか必要と認める事項

(委員会の構成)

第3条 委員会は、副学校長、教務主任、実習調整者及び事務長並びに学校長が指名する職員により構成する。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、兼任副学校長をもって充てる。

2 委員長は、会務を掌る。

3 委員長が必要と認めたときは、臨時委員を任命することができる。

(副委員長)

第5条 委員会に副委員長を置き、専任副学校長をもって充てる。

2 副委員長は、委員長を助け、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議等)

第6条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長は、毎年度1回以上、委員会を招集する。

3 委員会を開催したときは、会議録を作成するものとする。

(自己評価の項目)

第7条 自己評価の項目(大項目及び中項目)は、別表1のとおりとする。

(自己評価の実施体制及び報告書の作成等)

第8条 自己評価は、学校設置者、学校長、副学校長、授業科目ごとの専任教員及び事務長等が、別表2により自己評価項目(小項目)ごとに評点及び説明事項を記入することにより実施するものとする。

2 委員会は、前項の規定により個別に作成された評価項目ごとの評点及び説明事項に検討を加え、報告書(別記様式)及びその要旨(おおむね2,000字以内)を作成するものとする。

3 委員長又はその命を受けた委員は、前項の報告書等が完成したときは、速やかに設置者及び学校長に報告するものとする。

4 委員会は、年度の間にも自己評価を行うよう努めなければならない。

(自己評価の結果への対応)

第9条 学校長は、委員会が行った自己評価の結果に基づき、改善が必要と認められる事項については、その改善に努めるものとする。

(公表)

第10条 学校長は、第8条の規定により自己評価の結果について報告を受け、その内容について了承したときは、速やかに教職員全員に周知するとともに、その要旨をホームページ(PDFファイル形式とする。)等で公表しなければならない。

(委任)

第11条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、令和元年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年12月12日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和8年3月31日から施行する。

別表 1（第 7 条関係）

自己評価項目一覧

第 1 学校運営

- 1 設置者の理念
- 2 組織体制の考え方
- 3 危機管理

第 2 教育理念及び教育目的

- 1 教育上の特徴、法との整合性
- 2 学習指針の明確化
- 3 教育内容、教育方法及び教育環境の明確化
- 4 看護、看護学教育及び学生観の明確化
- 5 卒業時の持つべき資質、社会への保障の明確化

第 3 教育目標

- 1 教育目標と教育理念及び教育目的との一貫性
- 2 教育目標（教育内容及び最上位の目標）
- 3 到達レベル及び実現可能な教育目標
- 4 能力育成と成長を促す教育目標
- 5 卒業後の継続教育の考え方

第 4 教育課程経営

- 1 教育課程経営者の活動
- 2 教育課程編成の考え方とその具体的な構成
- 3 科目及び単元構成
- 4 教育計画
- 5 教育課程評価の体系
- 6 教員の教育及び研究活動の充実
- 7 学生の看護実践体験の保障

第 5 『基礎看護学』における教授、学習及び評価過程

- 1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」

及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第6 『地域・在宅看護論』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」
及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第7 『成人・老年看護学』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」
及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第8 『成人看護学』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」
及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第9 『老年看護学』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」
及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第10 『小児看護学』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」

及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第11 『母性看護学』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」
及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第12 『精神看護学』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」
及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第13 『臨床看護の実践』における教授、学習及び評価過程

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」
及び「授業内容間の関連と発展」

2 授業の展開過程

3 目標達成の評価とフィードバック

4 学習への動機づけと支援

第14 経営・管理過程

1 設置者の意思及び指針

2 組織体制

3 財政基盤

4 施設設備の整備

5 図書室の運用状況

6 学生生活の支援

7 情報提供の取組

- 8 養成所の運営計画と将来構想
- 9 自己点検・評価の目的と方法
- 10 自己点検・評価体制
- 第15 入学等
 - 1 教育理念、教育目的及び入試選抜の一貫性
 - 2 入学状況及び入学者の推移についての分析
 - 3 入学前後の合理的配慮
- 第16 国家試験
 - 1 国家試験内容の分析と試験対策
 - 2 合格状況の把握と分析
 - 3 不合格者への支援体制
- 第17 卒業、就業及び進学
 - 1 卒業時の到達状況の把握
 - 2 卒業生の分析
 - 3 就職先の評価と調査の実施
 - 4 卒業生の活動状況の把握と分析
- 第18 地域社会と国際交流
 - 1 地域社会との関係
 - 2 国際交流の取組
- 第19 研究活動の状況
 - 1 教員の研究活動の保障
 - 2 教員への研究活動の支援

別表 2 (第 8 条関係)

年度自己評価説明表

項 目		当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない	説 明 (備 考)
第 1 学校運営					
1 設置者の理念 (評価者は設置主体又は学校長)					
(1)	設置者の理念・指針は明確になっているか	3	2	1	
(2)	組織の構成と教職員の任命が明確になっているか	3	2	1	
(3)	職員の倫理規定・福利厚生が整備されているか	3	2	1	
(4)	財政基盤について教職員は理解しているか	3	2	1	
(5)	施設整備 (整備の考え方と整備計画) がされているか	3	2	1	
2 組織体制の考え方 (評価者は学校長又は副学校長)					
(1)	組織体制 (会議) が明確になっているか	3	2	1	
(2)	学校長、副学校長、事務長、教務主任、実習調整者、専任教員及び事務員の役割が明確になっているか	3	2	1	
(3)	教職員の資質向上の考え方と対策が明確にされているか	3	2	1	
(4)	組織の構成と教職員の任用の考え方が明確になっているか	3	2	1	
(5)	財政基盤が安定しているか	3	2	1	
3 危機管理 (評価者は学校長又は副学校長)					
(1)	地震、津波、台風などの自然災害が発生したときに、迅速かつ適切に安全を確保できる体制が整っているか	3	2	1	
(2)	消防機関と連携しながら災害発生を想定した避難訓練を実施しているか、また、校内で避難経路の周知が図られているか	3	2	1	
(3)	学校の内外で感染症が発生した場合に備え、適切な感染予防又は感染拡大防止対策を講じているか	3	2	1	
(4)	感染症の感染拡大を抑えるため、在学生、教職員その他学校関係者に対し協力要請等を適時に行っているか	3	2	1	
(5)	感染症の予防及び拡大防止に係る予算を獲得し、迅速かつ適切に執行しているか	3	2	1	
(6)	自然災害等が発生した場合における対応方針が教職員、学生及び保護者に周知されているか	3	2	1	
第 2 教育理念及び教育目的 (評価者は運営委員会)					
1 教育上の特徴、法との整合性					
(1)	教育理念及び教育目的は、自らの養成所としての教育上の特徴を示しているか	3	2	1	
(2)	教育理念及び教育目的は、法との整合性があるか	3	2	1	

2 学習指針の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示しているか	3	2	1	
(2)	教育理念及び教育目的は、実際に学生の学習の指針になっているか	3	2	1	

3 教育内容、教育方法及び教育環境の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているのかを述べているか	3	2	1	
(2)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師の質を保障するために、どのような教育方法をとるのかを述べているか	3	2	1	
(3)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師の質を保障するために、どのように教育環境を整えるかを述べているか	3	2	1	

4 看護、看護学教育及び学生観の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、看護、看護学教育及び学生観について明示しているか	3	2	1	
(2)	看護、看護学教育及び学生観は、実際に教師の教育活動の指針となっているか	3	2	1	

5 卒業時の持つべき資質、社会への保障の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師が卒業時点において持つべき資質を明示しているか	3	2	1	
(2)	卒業時点に持つべき資質は、社会に対する看護の質を保障するするのに妥当なものとなっているか	3	2	1	

第3 教育目標（評価者は専任副学校長）

1 教育目標と教育理念及び教育目的との一貫性

(1)	教育目標は、教育理念及び教育目的と一貫性があるか	3	2	1	
-----	--------------------------	---	---	---	--

2 教育目標（教育内容及び最上位の目標）

(1)	教育目標は、設定した教育内容を網羅しているか	3	2	1	
(2)	教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとなっているか	3	2	1	

3 到達レベル及び実現可能な教育目標

(1)	教育目標は、目標内容と到達レベルが対応しているか	3	2	1	
(2)	教育目標は、具体的で実現可能なものとなっているか	3	2	1	

4 能力育成と成長を促す教育目標

(1)	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定しているか	3	2	1	
-----	---	---	---	---	--

5 卒業後の継続教育の考え方

(1)	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定しているか	3	2	1	
-----	---------------------------------	---	---	---	--

第4 教育課程経営（評価者は教務主任）

1 教育課程経営者の活動

	教育課程編成者及び教職員全体は、教育課程				
--	----------------------	--	--	--	--

(1)	と授業実践、教育評価との関連性を明確にしているか	3	2	1	
(2)	教育課程編成者及び教職員全体は、教育理念及び教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか	3	2	1	

2 教育課程編成の考え方とその具体的な構成

(1)	看護学の内容について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成しているか	3	2	1	
(2)	学修の到達について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成しているか	3	2	1	
(3)	学生の成長について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成しているか	3	2	1	

3 科目及び単元構成

(1)	明確な考え方と根拠を持って科目を構成しているか	3	2	1	
(2)	明確な考え方と根拠を持って単元を構成しているか	3	2	1	
(3)	科目と単元の構成の考え方は、教育理念、教育目的及び教育目標と整合性があるか	3	2	1	
(4)	構成した科目は、看護師を養成するのに妥当であるか	3	2	1	
(5)	構成した科目は、養成所の特徴を現しているか	3	2	1	

4 教育計画

(1)	単位履修の方法とその制約について、教師、学生の双方がわかるように明示しているか	3	2	1	
(2)	単位履修の方法は、学生の単位履修を支援するものとなっているか	3	2	1	
(3)	単位履修生の考え方を踏まえつつ、看護師になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしているか	3	2	1	

5 教育課程評価の体系

(1)	単位認定の基準は、看護師に必要な学修を認めるものとして妥当であるか	3	2	1	
(2)	単位認定の方法は、看護師に必要な学修を認めるものとして妥当であるか	3	2	1	
(3)	他の高等教育機関との単位互換又は当該機関での履修済単位の認定が可能な体制を整えているか	3	2	1	
(4)	教育課程を評価する体系を整えているか	3	2	1	
(5)	評価結果の活用における倫理規定を明確にしているか	3	2	1	

6 教員の教育及び研究活動の充実

(1)	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分しているか	3	2	1	
(2)	教員が授業準備のための時間を取れる体制を整えているか	3	2	1	

(3)	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えているか	3	2	1	
(4)	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えているか	3	2	1	

7 学生の看護実践体験の保障

(1)	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念、教育目的及び教育目標を理解しているか	3	2	1	
(2)	臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	3	2	1	
(3)	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしているか	3	2	1	
(4)	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしているか	3	2	1	
(5)	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えているか	3	2	1	
(6)	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示しているか	3	2	1	
(7)	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っているか	3	2	1	
(8)	臨地実習において学生が関係する事故を把握し、分析しているか	3	2	1	
(9)	学生に対する安全教育及び安全対策を計画的に行っているか	3	2	1	

第5 『基礎看護学』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第6 『地域・在宅看護論』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	

(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第7 『成人・老年看護学』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

--	--	--	--	--	--

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第8 『成人看護学』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第9 『老年看護学』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第10 『小児看護学』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標と				

(3)	の整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第11 『母性看護学』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第12 『精神看護学』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	

(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	
-----	--	---	---	---	--

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第13 『臨床看護の実践』における教授、学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	2	1	
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	3	2	1	
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	2	1	
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	2	1	
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	2	1	

2 授業の展開過程

(1)	授業形態は（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	3	2	1	
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1	
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化・発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1	
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	1	

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	2	1	

(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	2	1	
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	2	1	
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	3	2	1	
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	2	1	

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	2	1	
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1	

第14 経営・管理過程（評価者は4、5、9及び10を除き設置者）

1 設置者の意思及び指針

(1)	養成所の管理者は、教育理念及び教育目的についての考え方を明示しているか	3	2	1	
(2)	養成所の管理者は、教育課程経営についての考え方を明示しているか	3	2	1	
(3)	養成所の管理者は、教育評価についての考え方を明示しているか	3	2	1	
(4)	養成所の管理者は、養成所の管理運営等についての考え方を明示しているか	3	2	1	
(5)	明示した管理者の考え方と設置者の意思とは一貫性があるか	3	2	1	
(6)	教職員は、養成所の設置者と管理者の考え方を理解しているか	3	2	1	

2 組織体制

(1)	養成所の組織体制は、教育理念及び教育目的を達成するための権限や役割機能が明確になっているか	3	2	1	
(2)	意思決定システムが明確になっているか	3	2	1	
(3)	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられているか	3	2	1	
(4)	意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられているか	3	2	1	
(5)	組織の構成及び教職員の任用の考え方と、教育理念及び教育目的の達成との間に整合性があるか	3	2	1	
(6)	教職員の資質の向上についての考え方と対策には、教育理念及び教育目的との間に整合性を有しているか	3	2	1	

3 財政基盤

(1)	財政基盤を確保することについての考え方が明確であるか	3	2	1	
(2)	財政基盤を確保することについての考え方は、学習及び教育の質の維持・向上につながっているか	3	2	1	

(3)	教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解しているか	3	2	1	
(4)	教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようになっているか	3	2	1	

4 施設設備の整備（評価者は事務長）

(1)	学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示しているか	3	2	1	
(2)	管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施しているか	3	2	1	
(3)	看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備しているか	3	2	1	
(4)	医療・看護の発展及び学生層の変化に合わせて、施設設備を整備し、改善しているか	3	2	1	
(5)	養成所が設置されている地域環境との関連から、学生及び教職員にとっての福利厚生施設の整備を検討しているか	3	2	1	
(6)	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備しているか	3	2	1	

5 図書室の運用状況（評価者は司書）

(1)	図書室における蔵書数は国が示している基準に適合しているか、また、分野ごと、領域ごとに整理されているか	3	2	1	
(2)	図書室の管理等に関する規程を整備し、これに従って司書が図書の貸出し、返却、図書・雑誌の購入、図書の除籍等を行っているか	3	2	1	

6 学生生活の支援

(1)	学生が入学後に学習を継続できる支援体制を多角的に整えているか	3	2	1	
(2)	学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えているか	3	2	1	
(3)	支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けているか	3	2	1	

7 情報提供の取組

(1)	教育・学習活動に関する情報提供を関係者（保護者等）に行っているか	3	2	1	
(2)	関係者（保護者等）への情報提供は、関係者から協力又は支援を得ることにつながっているか	3	2	1	
(3)	看護師を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っているか	3	2	1	
(4)	広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっているか	3	2	1	

8 養成所の運営計画と将来構想

(1)	養成所は、明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画及び年間計画を立案しているか	3	2	1	
(2)	その実施・評価は、将来構想との整合性を持っているか	3	2	1	

9 自己評価の目的と方法（評価者は自己評価委員）

(1)	自己評価の意味と目的を理解しているか	3	2	1	
(2)	実際に自己評価を行うための知識と方法を明確に持っているか	3	2	1	

10 自己評価体制

(1)	自己評価体制を整え、運用しているか	3	2	1	
(2)	自己評価体制は、養成所のカリキュラム運営及び授業実践にフィードバックするように機能しているか	3	2	1	
(3)	自己評価体制は、養成所の教育理念、教育目的及び教育目標の維持・改善につながるよう機能しているか	3	2	1	

第15 入学等（評価者は入試委員）

1 教育理念、教育目的及び入試選抜の一貫性

(1)	教育理念及び教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べているか	3	2	1	
-----	---	---	---	---	--

2 入学状況及び入学者の推移についての分析

(1)	入学者状況及び入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか	3	2	1	
-----	---	---	---	---	--

3 入学前後の合理的配慮

(1)	入学試験の受験者及び入学後の在學生について、障害等が認められる場合に合理的な配慮が行われているか	3	2	1	
-----	--	---	---	---	--

第16 国家試験（評価者は国家試験対策委員）

1 国家試験内容の分析と試験対策

(1)	国家試験内容の分析及び試験対策が明確となり機能しているか	3	2	1	
-----	------------------------------	---	---	---	--

2 合格状況の把握と分析

(1)	合格状況の把握と分析について明確となっているか	3	2	1	
-----	-------------------------	---	---	---	--

3 不合格者への支援体制

(1)	不合格者への支援体制が明確となり、機能しているか	3	2	1	
-----	--------------------------	---	---	---	--

第17 卒業、就業及び進学（評価者は進路指導担当）

1 卒業時の到達状況の把握

(1)	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っているか	3	2	1	
-----	---------------------------------	---	---	---	--

2 卒業生の分析

(1)	卒業時の到達状況を分析しているか	3	2	1	
(2)	卒業生の就業・進学状況を分析しているか	3	2	1	
(3)	卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念及び教育目標との間で整合性があるか	3	2	1	

3 就職先の評価と調査の実施

	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明				
--	----------------------	--	--	--	--

(1)	確にしているか	3	2	1	
(2)	卒業生の就業先との情報交換、調査の実施等ができる体制を整えているか	3	2	1	

4 卒業生の活動状況の把握と分析

(1)	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理しているか	3	2	1	
(2)	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念、教育目的、教育目標及び授業展開に活用しているか	3	2	1	

第18 地域社会と国際交流（評価者は学校長又は専任副学校長）

1 地域社会との関係

(1)	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握しているか	3	2	1	
(2)	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか	3	2	1	
(3)	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段を持っているか	3	2	1	
(4)	養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	3	2	1	
(5)	養成所が設置されている地域の特徴を把握しているか	3	2	1	
(6)	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか	3	2	1	

2 国際交流の取組

(1)	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	3	2	1	
(2)	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	3	2	1	
(3)	海外からの帰国学生や留学生の受入体制を整えているか	3	2	1	
(4)	留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えているか	3	2	1	

第19

研究活動の状況（評価者は学校長又は専任副学校長）

1 教員の研究活動の保障

(1)	教員の研究活動を時間的、財政的及び環境的に保障しているか	3	2	1	
-----	------------------------------	---	---	---	--

2 教員への研究活動の支援

(2)	教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	3	2	1	
(3)	研究に価値を置き、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にあるか	3	2	1	

